

《釧路公立大学生のバーナビー市訪問記》

3人の留学生が姉妹都市について、 知ったこと、感じたこと。

問合先 市役所市民協働推進課 (☎31-4503)



Kushiro



City of Burnaby
Burnaby
バーナビー



釧路市とカナダ・バーナビー市は2025 (令和7) 年9月、姉妹都市提携60周年を迎えました。

姉妹都市の縁で釧路公立大学とサイモンフレーザー大学 (バーナビー市)、キャピラノ大学 (バンクーバー市) は姉妹校提携を結んでおり、毎年9月から4カ月間、釧路公立大学の3人の学生が、キャピラノ大学に短期留学しています。

今回は、姉妹都市提携60周年記念の一環として留学中に阿部さん、乾さん、西崎さんにバーナビー市を訪問してもらい、姉妹都市について知ったこと、感じたこと等を語っていただきました。

インタビュアーは、「バーナビーのこみち」の看板キャラクター「こみちちゃん」です。

インタビュアー
こみちちゃん



こみち 留学したいと思ったきっかけは？また、バーナビー市について知っていましたか？

阿部さん 小学生の頃にK-POPケーポップに興味を持ったことをきっかけに、海外の文化や暮らしについて深く知りたいと思うようになりました。バーナビー市については今回のお話をいただいた際に初めて知りました。

乾さん ホテルへの就職を視野に入れ、英語を学びたいと思ったのがきっかけです。私はアイスホッケーをしていて、昨年釧路市にバーナビー市から高校生のホッケーチームが来たことでバーナビー市が釧路市の姉妹都市であることを知りました。

西崎さん 高校生の時から海外に留学したいと思っていたので、留学制度のある釧路公立大学に進学しました。バーナビー市が姉妹都市であることは、留学の募集案内を見て知りました。

3つの大学が協定を結んでいるのは知りませんでした。

こみち バーナビー市を訪問して、第一印象はどうでしたか？

乾さん 大学の近くから乗った路線バスの車窓から見るバーナビー市は、街並みがとてもきれいだと感じました。

阿部さん 私は全部で5回以上訪問しました

が、第一印象は、自然が多いと感じました。

西崎さん 街を歩いている人を見て、アジアの方が多い印象でした。

こみち カナダは多文化共生が進んでおり、バーナビー市も市民の半数以上が海外にルーツを持つ人だそうです。ところで、バーナビー市のどこを訪問しましたか？

乾さん 1回目は市役所前の「釧路ガーデン」に行き、2回目はバーナビーマウンテンにある「釧路パーク」に行きました。3回目は「日系文化センター・博物館 (以下、日系文化センター)」を訪問しました。

西崎さん 「釧路パーク」の前は花壇になっていて、看板前で記念写真を撮りました。阿寒湖畔のアイヌ工芸作家が建てたカムイミンタラという巨大な彫刻があり、阿寒湖のアイヌコタンにある彫刻と太平洋を隔てて向かい合っていることを初めて知りました。

阿部さん 「釧路パーク」から見た景色や澄んだ空気がとても印象に残っています。

こみち 日系文化センターを訪問した時のことを聞かせてください。

西崎さん 移民としてカナダで生活してきた日本人にまつわる歴史の展示のほかに、日本文化の「金継ぎ」のワークショップが行われていて、

自分も詳しく知らないような、日本の伝統文化が海外で継承されていることに驚きました。また、カナダに移住した日系人への深刻な問題があったことを知りました。

阿部さん 日系文化センターの展示で、現地に根付いた日系コミュニティが歩んできた背景を知る貴重な機会となりました。折り紙や切り絵のワークショップに、アシスタントとして参加させていただいたことが印象に残っています。

こみち 日系文化センターの横にある「釧路レーン」(釧路のこみち)には行きましたか？

乾さん 職員の方のご案内で、釧路レーンの石碑の前で写真を撮ってきました。姉妹都市提携60周年を記念して新たに命名された道と知って驚いています。

こみち 今回のバーナビー市訪問は、釧路市とのつながりを感じる機会になりましたか？

西崎さん バーナビー市に来なければ、日本の伝統文化や「釧路」を感じることはなかったと思います。釧路市とは距離もありますが、姉妹都市であることを大切にしてくれていることが伝わりました。

乾さん 留学中にホームシックになったのですが、近くに姉妹都市があり、「釧路」の名前が付いた場所や日系文化センターがあることで、